

各消防署における放射線量(12月4日測定)

施設名	測定時間	測定値 マイクロシーベルト/時	備考
一関西消防署(一関)	9時00分	測定高1.0m 0.19 測定高50cm 0.22	
一関南消防署(花泉)	9時00分	測定高1.0m 0.21 測定高50cm 0.24	
一関東消防署(千厩)	9時00分	測定高1.0m 0.27 測定高50cm 0.31	
一関北消防署(大東)	9時00分	測定高1.0m 0.18 測定高50cm 0.19	

各地区教育施設における放射線量(12月6日測定)

施設名	測定日時	測定値 マイクロシーベルト/時	備考
萩荘幼稚園(一関)	10時40分	測定高1.0m 0.31 測定高50cm 0.32	
花泉小学校(花泉)	10時00分	測定高1.0m 0.28 測定高50cm 0.27	
洺民小学校(大東)	10時50分	測定高1.0m 0.29 測定高50cm 0.33	
千厩小学校(千厩)	9時22分	測定高1.0m 0.29 測定高50cm 0.29	
松川小学校(東山)	9時10分	測定高1.0m 0.27 測定高50cm 0.29	
折壁保育園(室根)	13時20分	測定高1.0m 0.22 測定高50cm 0.22	
門崎保育園(川崎)	9時50分	測定高1.0m 0.12 測定高50cm 0.12	
新沼小学校(藤沢)	9時30分	測定高1.0m 0.18 測定高50cm 0.17	

公園などにおける放射線量(12月6日測定)

施設名	測定日時	測定値 マイクロシーベルト/時	備考
磐井川河川公園(一関)	10時20分	測定高1.0m 0.22 測定高50cm 0.24	
愛宕児童公園(千厩)	9時57分	測定高1.0m 0.30 測定高50cm 0.32	
千厩多目的グラウンド(千厩)	9時38分	測定高1.0m 0.29 測定高50cm 0.30	

農畜産物における放射性物質の調査状況

品目	セシウム134 単位:ベクレル/kg	セシウム137 単位:ベクレル/kg	採取日
菌床シイタケ	不検出	不検出	10月31日
ハクサイ	不検出	不検出	11月24日
ホウレンソウ	不検出	不検出	11月24日
大豆	試料1	21	10月26日
	試料2	45	
	試料3	不検出	
鶏肉	不検出	不検出	10月27・28日
原乳(コールドセンター)	不検出	不検出	11月14日

- ▶ 調査団体は全て岩手県
- ▶ 野菜・穀類の食品衛生法上暫定規制値…【放射性セシウム】500ベクレル/kg以下、【放射性ヨウ素】2000ベクレル/kg以下
- ▶ コールドセンター…生産された牛乳を一時的に冷却・貯蔵する施設
- ▶ 原乳の食品衛生法上暫定規制値…【放射性セシウム】200ベクレル/kg以下、【放射性ヨウ素】300(100)ベクレル/kg以下※( )内は、食品衛生法に基づく乳児の飲用に関する暫定的な指標値

水道水の測定値(12月1日採水)

採水時間	放射性セシウム測定値 単位:Bq/kg	放射性ヨウ素測定値 単位:ベクレル/kg	測定団体
9時00分	不検出	不検出	岩手県

- ▶ 採水地:萩荘字脇田郷37(市脇田郷浄水場)
- ▶ 原子力安全委員会が定めた飲食物制限に関する指標値(飲料水):放射性ヨウ素300Bq/kg、放射性セシウム200Bq/kg(Bqは、放射能の量を表します)
- ▶ 水道水の基準のうち、放射性ヨウ素について100Bq/kgを超えるものは、乳児用調整粉乳や直接飲用に供する乳に使用しないよう指導することとされています。
- ▶ 測定は、毎週1回実施しています。



勝部市長は「当然のことをしただけ」と当時の対応を振り返りました。

森崎部長は「大変お世話になりました。観光客、ビジネス客、駅利用者にも毛布や食料を提供していただき、本当にありがとうございました」と謝意を示しました。

JR盛岡支社の森崎鉄郎営業部長は10月24日、市役所を訪れ、東日本大震災の際に乗客や駅利用者約2000人に避難場所を提供した市とNPO法人一関文化会議所に感謝状を贈りました。

震災時の乗客対応で市などに感謝状

公共施設などにおける放射線量一斉測定結果総括表

地域	区分	測定施設数	測定結果が毎時1マイクロシーベルトを超えるもの					
			1cm		50cm		1m	
			施設	箇所	施設	箇所	施設	箇所
一関	公共施設	59	21	46	3	9		
	公園	57	3	3				
	自治集会所	144	72	133	20	20		
	計	260	96	182	23	29		
花泉	公共施設	33	18	67	9	18		
	公園	5						
	自治集会所	85	47	82	5	6		
	計	123	65	149	14	24		
大東	公共施設	38	24	97	4	5		
	公園	11						
	自治集会所	79	45	89	3	3		
	計	128	69	186	7	8		
千厩	公共施設	29	14	59	3	17		
	公園	17	1	2				
	自治集会所	33	22	43	2	3		
	計	79	37	104	5	20		
東山	公共施設	27	12	38	5	5		
	公園	15						
	自治集会所	17	8	20				
	計	59	20	58	5	5		
室根	公共施設	33	18	32	6	9		
	公園	1	1	2				
	自治集会所							
	計	34	19	34	6	9		
川崎	公共施設	14	7	44	4	9		
	公園	14	2	8				
	自治集会所	24	15	30	2	3		
	計	52	24	82	6	12		
藤沢	公共施設	58	8	9	2	2		
	公園	11	1	1				
	自治集会所	31	14	15	1	1		
	計	100	23	25	3	3		
合計	公共施設	291	122	392	36	74		
	公園	131	8	16				
	自治集会所	413	223	412	33	36		
計	835	353	820	69	110			

毎時1マイクロシーベルトを超えるところはありませんでした。

今後の放射能対策の取り組みについて

9~10月にかけて文部科学省は、原発事故により放出された放射性物質の影響を広域に把握するため航空機モニタリング調査を実施。11月に発表された調査結果によると、市内には地上1メートルの高さで毎時0.23マイクロシーベルトを超えるエリアがあることが確認されました。これを受け市は、放射能対策に係る財政支援や指導を国から受けるため、汚染状況重点調査地域の指定を希望し、12月中に指定を受ける見通しです。

指定後、国の指導を得ながら「いつまでに生活圏の放射線量をどの程度まで低減させるか」という目標や、子供たちの生活環境の除染を優先することなどの優先順位、実際に除染する地区などを定めた除染計画策定を年度内に進めます。

除染の取り組みに向けた流れ

